

荒尾市地域公共交通網形成計画
取組状況について

平成30年3月に策定した「荒尾市地域公共交通網形成計画」において設定した数値目標について、基本的な方針ごとに現時点での取組状況を確認する。

基本的な方針1
市内の移動ニーズに対応した利便性の高い公共交通網の構築

| | 計画策定時 | | 現 状 | | 目標（2022年度） |
|--------------------|-------|---|------------|---|------------|
| 路線バス・乗合タクシーの人口カバー率 | 81% | ⇒ | | ⇒ | 85% |
| 65歳以上の市民の公共交通満足度 | 17% | ⇒ | 19% | ⇒ | 35% |

平成30年度に実施した事務事業

- 乗合タクシーの乗入れ施設拡大 → 平成30年10月から荒尾市民病院への乗り入れを開始
- 乗合タクシーの運行時間拡大 → 平成30年から7～9月の夏季限定であらおシティモール17：00発の便を設定

基本的な方針2

広域的な移動ニーズに対応した隣接市町との連携による円滑な動線の確保

| | 計画策定時 | | 現 状 | | 目標（2022年度） |
|-----------------------------|----------|---|-----------------|---|------------|
| 路線バス利用者数 西鉄バス大牟田(株) | 461,022人 | ⇒ | <u>470,224人</u> | ⇒ | 461,022人 |
| 路線バスの運行便数（平日） 西鉄バス大牟田(株) | 81便/日 | ⇒ | <u>83便</u> | ⇒ | 81便/日 |
| JR荒尾駅乗車人員 | 1,172人/日 | ⇒ | <u>1,131人/日</u> | ⇒ | 1,500人/日 |
| 荒尾駅～大牟田駅間の 鉄道本数（平日） | 90本/日 | ⇒ | <u>90本/日</u> | ⇒ | 90本/日 |

荒尾駅～三池中町の運行が強化されたことにより、西鉄バス大牟田(株)の運行便数が2便増加。

便数増加や利便性に関するチラシのポスティング等により、利用者が増加。

平成30年度に実施した事務事業

- ・「FMたんと」などを活用した情報発信の実施
- ・異なる交通事業者間の乗継に関する情報発信の強化

→大牟田市、西鉄バス大牟田(株)と共同でバス利用促進のチラシを配付するとともに、FMたんとを活用して大牟田市、荒尾市間の乗継情報に関する情報発信を行った。

基本的な方針3

公共交通の新たな利用者の獲得と
リピーターの確保

計画策定時

現 状

目標（2022年度）

路線バス利用者数
産交バス(株)市内路線

222,627人 ⇒ 218,423人 ⇒ 238,000人

乗合タクシー利用者数

7,706人 ⇒ 8,185人 ⇒ 10,000人

直近1年間で路線バスを
利用した市民の割合

— ⇒ 21% ⇒ 40%

平成30年度に実施した事務事業

- ・免許返納者割引乗車証の発行 → 産交バス(株)主体の事業として継続して実施
- ・健康づくり活動に合わせたモビリティマネジメントの実施
- ・ラッピングバスの運行
- ・公共交通マップの作成・配布
- ・あらかしシティモールにおける定期券等の販売 → 平成30年4月から実施

基本的な方針4

効率的で持続可能な公共交通事業の運営

計画策定時

現 状

目標（2022年度）

路線バス1便当たり乗車人数
産交バス(株)市内路線

7.0人 ⇒ 6.9人 ⇒ 7.5人